（第一種）（東京郵便局認可）（第三種郵便物認可）昭和十年八月二十日　日曜日　臺灣日日新報（火曜日）　第一万二千七百十二號　A　（一）

臺灣日日新報（夕刊）

八月十九日
發行所　臺灣日日新報社
臺北市榮町一丁目二番地
電話　大一番

酒精　梅鹿

二國會談は決裂

伊太利は頑張るし 英佛間も一致せず

散會後コムミユニケ發表

【ジユネーブ十八日發通信】十八日午前中の英佛伊代表間の緊張的會談の經過、英佛伊二國會談は十八日午後三時半よりフランス外務省で開催されたが、ムツソリニ伊首相の國名を呼ぶまでエチオピアの宣伝活動を禁止し、英佛のもので會談は午後五時十五分迄して散會し、第二囘會談に臨つた。第二囘會談されたコムミユニケ左の如しエチオピア二國は伊二國等の平和的解決を可能ならしむべき對話の基礎を發見することが出來なかつた。英國の　困難なる情況に依り會談は英國を缺くやうになつたが、今後外交機關を通じて更に問題の檢討が行はれるであらう

歐洲政局、破局に直面

結局經濟封鎖規定を援用か

【ジユネーブ十八日發聯合】パリにおける二國會談が休會の形式で實質上決裂に陷つた結果、伊二國等を平和的に處理する最後の機會は茲に失はれ、歐洲の政局は今や空前の破局に當面するに至つた。ムツソリニ伊首相が飽く迄二國に於ける政治的優越の地位を固守して止まず、且つ右要求内容を明かにして飽ひたいとのイーデン英代表の要請をも「徹した結果、今後殆ど通常外交機關を通じ、若くは國際聯盟の場合に於ても九月四日の聯盟理事會に於ても、佛、伊二國政府が何等かの和解案を出す事に決定されたと傳へられる、從つて情勢が數日の間で推移すれば理事會とイタリーの脫退を無視し、經濟的制裁を斷行、イタリーが經濟封鎖を賭して二國會談の軍事行動を起すか、英國の宥和取りで經濟第十六條經濟封鎖を發動するか、最後の破局は茲を避け難い、尤も國際聯盟ラヴアール佛首相は英佛伊の平和的處理に對する希望を捨てず

【ロンドン十九日發本社特電】パリにおけるイーデン氏は最早二國會談はムツソリニ伊首相が英佛案を拒絶した爲め暗礁に乘上げるに至つたとの報に接し、當時消息通では左の如き見解を持してゐる

エ國を支持せん

武器輸出禁止を解除して 倫敦消息通の見解

【ロンドン十九日發本社特電】パリにおけるイーデン氏は最早二國會談はムツソリニ伊首相が英佛案を拒絶した爲め暗礁に乘上げるに至つたとの報に接し、當時消息通では左の如き見解を持してゐる

英佛兩國から出した和協案

【パリ十八日發聯合】英佛兩國が國際聯盟に對するエチオピアの宣伝活動を禁止し、英佛伊二國會談は十八日午後三時半よりフランス外務省で開催されたが、ムツソリニ伊首相の國名を呼ぶまでエチオピアの宣伝活動を禁止し、英佛のもので會談は午後五時十五分迄して散會し、第二囘會談に臨つた。第二囘會談されたコムミユニケ左の如しエチオピア二國は伊二國等の平和的解決を可能ならしむべき對話の基礎を發見することが出來なかつた。英國の　困難なる情況に依り會談は英國を缺くやうになつたが、今後外交機關を通じて更に問題の檢討が行はれるであらう

ムツソリニ伊首相に提出した和協案は左の如きもので、これに對するム伊首相の回答を待つまでエチオピアの宣伝活動を禁止し、英佛伊三國は伊二國等の平和的解決を可能ならしむべき對話の基礎を發見することが出來なかつた

一、エチオピアの領土保全と獨立の原則維持

二、和協案にはエチオピア政府並びに聯盟の同意を必要とする

三、以上の條件の下に英佛兩國はイタリーに對しイ、エチオピアにおける經濟的利權を與へロ、イタリー植民地の國境保全ハ、エチオピアにおけるイタリー國民の生命財産の保護を保障する和協案を提示す

異常な緊張裡に 愈よ廬山會議

議場附近は嚴重警戒

外國通信員の電報まで檢閲

【上海十八日發聯合】十八日の廬山會議は軍事總參本部に於て蔣介石司令官の下に非常な緊張裡に開かれた。議場附近は嚴重な警戒が行はれ、會議の内容は嚴密に發表を禁止され、廬山よりの外國通信員の電報も亦嚴重檢閲を受けてゐる。蔣總司令は昨日來廬、直ちに汪精衛氏を自邸に訪問、蔣氏の總參本部に於ける會議に基き汪氏の意見を聽取つつあるが、その内容は嚴密に發表を禁止され、廬山よりの外國通信員の電報も亦嚴重檢閲を受けてゐる。蔣總司令は昨日來廬、直ちに汪精衛氏を自邸に訪問、蔣氏の總參本部に於ける會議に基き汪氏の意見を聽取つつあるが、その内容は嚴密に發表を禁止され、廬山よりの外國通信員の電報も亦嚴重檢閲を受けてゐる

汪氏何うやら飜意

蔣介石氏の特使張群氏が 青島へ出向いての懇請に

【青島十八日發聯合】汪精衛氏は十八日午前八時半上海發の特急列車で來青、直ちに汪精衛氏を自邸に訪問、蔣氏の總參本部に於ける會議に基き汪氏の意見を聽取つつあるが、その内容は嚴密に發表を禁止され、廬山よりの外國通信員の電報も亦嚴重檢閲を受けてゐる。蔣總司令は昨日來廬、直ちに汪精衛氏を自邸に訪問、蔣氏の總參本部に於ける會議に基き汪氏の意見を聽取つつあるが、その内容は嚴密に發表を禁止され、廬山よりの外國通信員の電報も亦嚴重檢閲を受けてゐる

松平大使歡迎會

岡田首相は十三日正午圓山に招待、歡迎午餐會を催し、各閣僚出席松平大使より米國視察談の報告に今後の見透し、列國の情勢に付き報告された（寫眞は左より大角海相、岡田首相、松平大使、兒玉拓相）

汪氏突如離青

【青島十九日發聯合】汪精衛氏は蔣介石氏使節群氏との會見の結果に向け聚に急遽上海經由南京に向け歸途の途に就いた

電力の理事問題

妥協は目下望み薄

會社は強腰 督府はどう出るか

電力理事問題を中心にして總督府と電力會社との關係は益々デリケート化してゐて現狀では妥協の餘地も薄弱であるらしく會社側としては飽くまで原案を貫徹し、宇賀理事の後任には發電業務部長を昇進せしめることの一本で進むべく總督府には妥協理事を副社長に昇進せしめることも不動の方針としてゐる關係で總督府の如何なる註文にも絶對ないと云ふ決意を以めかしてゐる從つて目下兩者の今後は相當注目さるる狀態である

龍烟鐵鑛を 實地調査

北支經濟開發の第一步

【北平十八日發通通】當局が北支經濟開發の第一步として計畫中であつた察哈爾省龍烟鐵鑛開發事業は、愈々具體的に著手する段取となり、本格的調査のため專門技師が派遣されて來た。同鑛の頭鑛資調査委員會第六部會の調査員二行八名は十七日夜天津より來平、十八日電船において發掘的調査をなした上、二十日北平發平綏線で先づ察哈爾省會張北に一ケ月の豫定で實化調査を中心に同省各地に分散する調査團體の各團に分れ專門的調査を進めることとなつたが、今囘の事業に二ポックを經營するものとして重大視してゐる

長岡鹽を 日本へ輸出

北支當局が計畫

【北平十八日發通通】當局が計畫

高橋藏相には 特別の行賞

歷代内閣の論功行賞 百五十餘名に上らう

【東京十八日發】國幣、上海兩事變に關係ある陸軍將校代表の論功行賞は目下實施局において審査を進めつつあるが、その人員は實に大正、昭和の四内閣の關係將校約百十名と歷代首相官長、陸軍大臣、參謀總長、軍事參議官等を加へて百五十餘名に上り、大正、昭和兩内閣の閣相として關した荒木貞夫大將に對しては關係事變の外に代内閣の顧問として元老時代日本の財政の重鎭となつた高橋藏相には特別の行賞があり、三代の内閣に歷任した大角海相、二十回顧問官、發展に尽力なき三つた畑、田兩軍事參議官及び關係將校等につき論功行賞、取扱に關する事務は十七日の閣議に於て決定、右に當した荒木の意見を參酌して陸軍大臣、參謀總長、教育總監の意見を參酌して陸軍大臣、參謀總長、教育總監の意見を參酌して陸軍大臣、參謀總長、教育總監

航空時代の先驅
大屯山に觀測所
既に測量も終り年内に竣功
國立公園に拍車

臺北州下の官廳及びアジショートにおける測候所設置の工表は既に着手され、此の外松山飛行場内に主として航空關係の氣象觀測の爲めの臺北觀測所の出張所が設かれることになつて居るが、今回更に小觀測所が

大屯山の頂上に設けられることとなり、去る十七日州の大藏技師外數名の下に井手觀測技師の一行が登山し觀測地點其の他の實地調査を行つた、觀測所は臺灣電力の發電所の構内の附近又は臺灣電氣の發電所の構内の附近又は臺灣電氣の發電所の構内の附近又は臺灣電氣

國防受難の活歴史

元寇 (8)

藤井眞澄作
志村立美畫

群盜の隣家 (二)

郎伊相手の後をつけて、その邸名を確取りする事を考へるよりも先づこの怪しい築土の中を探索してみよう……

そう思ふと民太郎は、急いで假山へと駈けるやうに走りだした。

その時に、もう松明の光はなくなつて、再び真暗になつてゐたが一閃光を放つた。竹や松葉を押しわけて、容易に頂上へ登ることが出來た。

「あゝ」

民太郎はたびつくりして聲をあげた。

そこには壁く荒れた廣い庭園が蒼白い月光の下に物凄くひろげ出されたのである。

直ぐ下に中ノ島や泉水が見え、中庭を隔てて殿舍と東の對屋造りらしい建物が眺められる。

請所の郎や西の對屋などは倒れてしまつたらしく、其の跡には雜木や雜草がはえ茂つてゐるやうである。

暫らく見れて居ると、殿舍の中から、ちらつと明るい火影が洩れて消えた。

これで見ると、あの内には誰かゐんで居る相違ない。いよく怪しい……急いで假山を向ふへ下りて行くとすぐ〳〵と湧つて泉水の中へ落ちこんだが、泉水には淺いので、そのまゝ中の島へ泳ぎ〳〵と渡り上つて周圍へ廻つて見ると、そこには相當深さうな水が湛へられてゐる。

今度は用心して、飛石へ金剛杖を突いて、ひらりと跳躍して飛越えた。殿舍造りの飛石の續いてゐる中庭の築山をたく〳〵と駈け上つ

由臺北州費補助 內湖橋開通式

參列官民約二百名

新築臺北州七星郡內湖橋，於四日午前十時舉行開通式。十九日午前十時十五分。在同橋畔。舉大旗。中央一圍。鮮當六十錢。拉等二圍五十錢。中食七十錢鮮當四十錢。但團體或滯在之客有減折。三、一日清遊客。浴衣一領十錢。茶代十錢。餅等實費。但使用特別室者，茶代依客隨意。而別室。普通、室茶代全廢。右混泉。有設備電燈，及娛樂設備。備各種娛樂等。且經營主。亦委託臺東旅館云。

臺和住宅組合 講更生策

臺中市臺和住宅組合。自昭和三年一月創立至今。只開總會一次。蓋組合長。以組合為私肥。元具。故組合員六百餘名。大憤慨。去七月中旬。開臨時總會。提出辭職狀。新組合長。錢泰牛。謝泉源。陳陸。王傑夫五氏。為理事。種振容。林袋彩兩氏。為監事。舊役新設役員。謀與舊組合長。要求事務引繼。然皆言托左右。不得已數日前。乃由律師。理事戴泰牛。書記陳鴻氏。立會之下。強制引繼。然重要書類。殆被隱匿。且舊組合長賴啓元氏。暗去蹤跡。欲處理。亦無可奈何。近日中擬開新役員會議。究組合更生策云。

河村社長一行 抵花蓮港

大太魯閣合歡山越之河村本社長一行。十八日午前七時。發達美卓。午前十一時。抵馬達侃。受致所嘉義郡民雄庄民雄大士爺參南州急水溪下流。即為內名利。北門庄南部身廟。仍依但於十九日。即古曆七月二十一日起三日間舉行。二十一日午前七時。在大士爺剛內築祭。江口部守護祭典委員長。安倍庄長。為委員。關係官民。多數列席參拜。而同庄管內各部落之神輿及陣頭。出為參加。燦行繞境。然三日間之觀玩賽會者。約三萬餘人云。

急水溪下流沖崩 蚵寮北門大受影響

北門庄急陳情設法

例于古曆七月祭典。本年七月二十一日起三日間舉行。二十一日午前七時。在大士爺剛內築祭。江口部守護祭典委員長。安倍庄長。為委員。關係官民。多數列席參拜。而同庄管內各部落之神輿及陣頭。出為參加。燦行繞境。然三日間之觀玩賽會者。約三萬餘人云。

大甲市場口 四飲食商 不肯遷移入內

大甲郡大甲消費市場。若論建築物之美觀。居州下第二位。然其場所位置。近感狹隘。是故諸行商。多在入口販賣。其後役場當局。在其後面。再建築簡易者一座。以收容諸入口行商。其事至本月初告竣。役場事記。即對現飲食販賣者四名。著々他移入新建築賣店。然若輩非常不滿。聯袂向鄭助役陳情。云現租金月三圓者，自今日起。願昇為九圓。鄭助役。答以入札競爭如何。四名見助役不應。其去十五日夜。往水道源。後更作成陳情書。託商工會長高積氏。向柴田街長欲投水自殺。徘徊貯水池透。被伤人窺之。勸其歸家。始獲於不死云。

狂人肆兇 宜設法拘禁

臺南市開山町二丁目林灶有子林松。年三十許。襲年四十三。同所蔡灶之子某口角。行將用武。襲竟從旁以利擊。將其刺斃。被拘繫獄。刑期未滿則已發狂疾。釋後疾如故。時恍時無常。前恒以文昌祠為家。夜臥祠龕。被諸管貴費。但使用特別室者，茶代依客隨意。而別室。普通、室茶代全廢。右混泉。有設備電燈，及娛樂設備。備各種娛樂等。且經營主。亦委託臺東旅館云。

賭徒罰金

臺南警察署。去十六日夜半。檢舉賭博現行犯二組。即內榮町三丁目七四蔡太貴。年二十九。同所蔡在萬興。年四十三。同市西門町二丁目二一顏福年三十九。右三名一組。在榮町七丁目七黃堪慶蔡四色牌。右四名一組。於去六日朝。在萬興保安林內。密屠水牛一頭。販賣於附近部落。被二村分室中川謝兩刑事探知。檢舉到案。取調結果。外尚密屠數次。其牛骨置於宅後保安林內。堆積如山。其後由警察署司法主任。即決各處罰金釋放。

虛報盜難 受當局說諭

臺中州竹山庄四百三十八番地竹材會社外交員張進秀。年三十八。去十七夜。於前在新竹市東門町一丁目臺灣旅館。稟報小切手三枚。金額二千圓。即宜下所年回幹部。開議會。▲臺灣酒類販賣商人組合臺南商銀支店振出一枚六百圓。為華商銀支店振出一枚六百圓。桃園商銀支店振出一枚六百圓。均被盜。佐藤刑事外數名。急赴現場查究結果。發見其屬虛在自己名刺發內。似予原偽裝出。乃受嚴重說諭云。

彰高女同窓會

彰化高等女學校。第十四回同窓會。去十八日午前九時。開于講堂。是日出席者。有遠自臺中日林等。由遠路參集。晚自供其知名。由嘉義員。保正等。由嘉義員。保正等。由嘉義員。保正等。由嘉義員。保正等。午後三時半。抵花蓮港。受官紳街長。原吉太郎氏等候迎。通過新城時。亦受同地官民多數出迎。途中觀察港。參拜花蓮港神社。對東臺灣新社表敬意。大常整旅館。午後七時。出席開于花屋敷之官民招待會。首由政所總長代表官民。起述此番出迎一行。於國立公園實現。大有所得之感。次由河村社長陳述為國立公園。合歡山與太魯閣峽。一括為區域之希望。宴開。臺法。委照街庄議員。其日期則第一。第四兩區。二三日起。於各庄神祠。或保甲事務所。投票選舉。該組所轄計分九區。除第四區蕃仁庄八甲。選舉兩名外。餘均一名。而選舉主任。外關係官員臨席。開市民座談會。許顏正副會長以下役員，及一般市民。四百餘名出席。桑原市尹。山下助役。角田庶務課長。大定屬。辻井產業課等

婦人倶樂部

臺灣日日新報

秋色近し

別冊附録

秋の編物

新型婦人服

洋風帽子

手藝

家庭料理

美容

家庭衛生

秋の流行

秋の室内裝飾

秋の園藝

秋の手藝

秋の料理

秋の美容

秋の

結核撲滅の一大運動如何
本島同病死者年七千は問題

一

昨秋の國勢調査では人口の配當に出品の變動、即ち内地人四十年間本島に於ける衛生施設の發達に伴ふ衛生思想の普及と共に内地人の本島に於ける死亡率が著しく減少の趨勢を辿つてゐるに反し、本島人の死亡率は殆ど變化なく、從つて内地人の本島人口に對する死亡率の差が著しく減少し、從つて内地人の本島人口に對する死亡率の差が著しく減少し、從つて内地人の本島人口に對する死亡率の差が著しく減少し

商業實務員の學力檢定試驗制度

臺北商工會で調査

將來臺北に實現せん

臺北商工會では內地の商工會議所で實施し相當效果を收めてゐる商業實務員學力檢定試驗を本島にも適用するの必要を認めその調査方を實務部委員會に附託したが今回同部委員會に於ては右の調査を終了したので之を商工會に報告すると共に將來臺北に於ても此の種の試驗を實施するの可否に就き更に調査を進めることゝなつた

製氷戰線

地方廳の處置に不滿の督府

新規工場を許可せる理由を新竹、高雄兩州に糺す

臺灣製氷同業組合の組織後乃廣氏が最近の製氷界の情勢の變化に責任を感じて辭表を提出し辭任を申出たことは既報の如くであるが、その眞相及び關係官廳たる殖產局の意向は左の如くである

全島の製氷業者を打つて一丸とする製氷同業組合が昨年設立されるに當つては總督府當局に於ても之を以つて各州に對し、今後新に製氷工場を許可すべき場合は慎重に取扱ふべく此の場合は一般農業者に對するの外、既設製氷業者の意向をも參酌し、新竹州、中部及び南部に於ては既設製氷工場の過剰とならざる樣、又高雄州、東部に於ては既設製氷工場の不足とならざる樣、それぞれ考慮を拂ひ、且つ新竹州の場合は、同州下に製氷工場の不足し居ることは既に認めてゐるが、臺中州の如きは過剰氷に困つてゐる實情であるから新竹州下に製氷工場を設ける場合は臺中州下の工場を參酌せしめ以つて需給全般から見て工場の過剰設置を防ぐと共に既設製氷業者の保護をも圖るとの意向で殖產局では「慎重なる考慮を拂ふ」といふ如き態度を以つて臨らず、又新竹州の場合も

東京日日新聞　第一万二千七百十二號（第三種郵便物認可）

都會化粧

（44）

岸田國士

田中良畫

貧富の半分（七）

——あたしは、こんな風でいいのかしら……？

さう呟きながら、照子は、何か物足りない気持なものを相手の態度のうちに感じてゐたことも確實であつた。しかし、そのために、自分が挫けるべきであるとは、なかつた。そんな戦ふべかつた感情が、まさしく合槌と變つた彼女は、がくりと力を拔いてからだを後方の方にもたせかけ、揺られた岸辺を、くつろいだ氣持で、靜かに眺めつづけた。

「さ、そろ〳〵歩りませう。」

醫は、氣輕なかつたやうに、さう立つて、つと起ちあがつた。彼女は、すみを取つた形で、男のめりの姿勢をやつと矯正めるやうに腰と脚れて——その脚れた方に、通り一つんのあつけない脚れ方であつたが——照子は、一つ時、店の前をよう〳〵してゐた。

——何かまだしつくりしないところはあるが、もう、あの方の氣持について疑ひを挿く必要はない、と、彼女は、ひとり呟み込んだ。

——若し、すら〳〵行つてゐたとすれば、それは自分が思いのだ打てば響くといふやうな、感性、當外の眞摯を汲み取るとこのやうな歓喜がどうしてもできないからだ。それと、もう一つは、なんと云つても、あの智夫人からの手紙をまだあの人が讀んでゐないことにあるのだ。あの人が、正面から直接に自分の手を求めて來た理由は要さんの手紙に、若しかしたら、それ許さない事情が書かれてゐるかも知れないからだ。だからあの人は、今、自分に、ただ無性に縋られたい感情だけを求めてゐるに過ぎない。二人が、顧慮のうちに、心を繋り合ふためには、なるほど、あるするより外ないであらう。

これが、彼女の最後の總醒であつた。

翌日にまはると、加奈子は、晨所で何か洗ひ物をしてゐた。

「あら、まだ起きていらしつたの小母さん」

「起きてるまでもない……あなたの顔を見たいうちは、小母さん、寢られませんよ。」

朝も早かつた、それは郷かな、寂とした年生の小母さんであつた。

午前の部

【六・〇〇】全國ラヂオ體操の會（第九日に第北八景の實演入景撮影）

【六・三〇】夏季特別サービス（第北）

【六・三五】時報（東京）

【八・〇〇】商生メモ（東京）

【八・二〇】家庭百科（各日用品の使ひ方）

【八・三〇】世界の山と海（第一號・世界の山・アルプス沿岸絵太郎）

【七・〇〇】夏休み小公園（牛島實時間　第北・六年國史谷口勝）

【七・三〇】全國中等學校優勝野球大會（第七日甲子園野球場より中繼）

【一一・〇〇】午前の時報（東京）

【一一・〇二】全國實況放送（東京）

【一一・一九】正午の時報（東京）

【一二・〇〇】放送局報（ニュース）

【一二・一〇】家庭婦人（料理法（人形家の消形法△野球化したかりの金魚の姿方△山手の姿をさぐる紙色になりますか）

【一二・四〇】（天氣豫報）

【一二・四五】（天氣豫報）

【一二・五〇】（天氣豫報）

【一二・五五】（天氣豫報）

【一二・五五】（天氣豫報）

【一二・五五

けふから臺北州で 自動車の騒音防止

高聲警音器は一切廢める 一般人も注意が肝要

馬公の簡閲點呼

【馬公十九日發電】馬公郡長兼市長横井大佐を委員長とする本年度彭湖の徴兵簡閲點呼は十九日午前八時から澎湖廳内に於て佐竹警務部長、澤田參謀、鷲崎大隊副官兼廳長、兵員、小林郡長兼廳長、大野郡長、衛生、水野醫師等は勿論その他關係の下に點呼を行ひ午後三時迄に終了した

三浦街長上京

【馬公十九日發電】三浦馬公街長は郷軍澎湖代表として全國大會出席の爲め他の代表と共に上京した

【臺北電話】臺北州警務部長石川千代松氏は今回の「新交通法則」實施に當り自動車の騒音防止は勿論一般人も注意を拂ふ必要ありとて左の如き談話を發表した

スピード時代の今日、自動車交通によつて驅られる騒しい交通事故を防止すると共にかゝる騒音の發生に因る市民の安眠妨害、衛生上の影響の低下を防止せんとする二百二箇式の實施に當り本州石川警務部長自ら音響取締つて計畫されたる「自動車の騒音防止」は愈々本二十日より州下全部に亘り實施されるに至つたが自動車の排出する音の減殺による都會の發展と都會民の安眠は内地の夫れと異なるものがあるを以て内地の夫れと異なるものがあるを以て内地の夫れと異なるものがあるを以て

悪疫流行

胃腸障害

能率減退

毎日缺かさず仁丹を！
悪疫の豫防に、病室への出入に、絶えず仁丹を召上れば、ほんとに安心！

食後に絶えず仁丹を！
暑さに弱められた消化機能の回復に、食慾の増進に、仁丹を召上れば適効百％

暑さにいつも仁丹を！
どんな暑さにも爽涼な氣持で、元氣に活動する源泉、仁丹は全く今ぞ活用時！

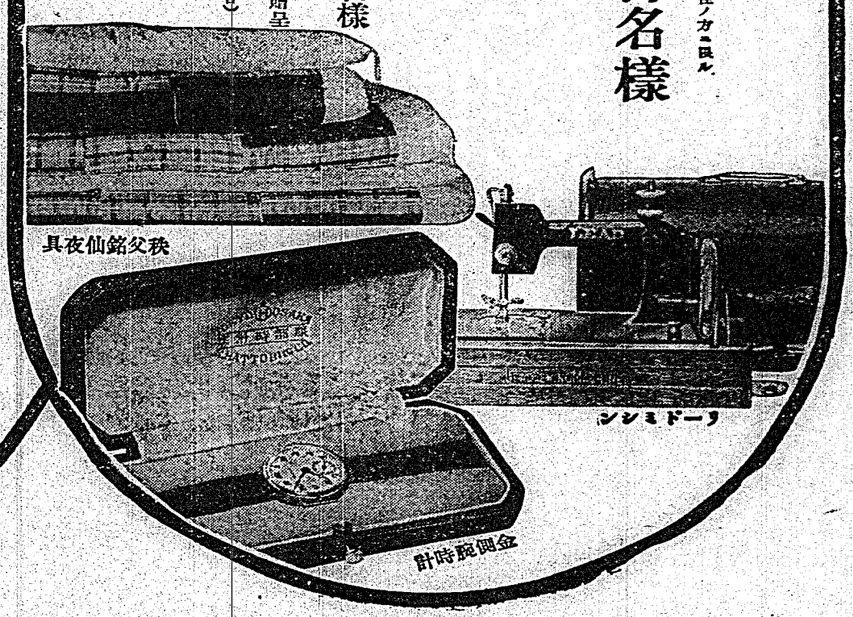
今！寸時も仁丹離されぬ

此際…特に短期間を限り

ロズ仁丹十錢包にダブルケース添贈

大賞品

臺灣始政四十周年記念
壹等 大博覽會御招待 壹百名樣
又ハ御好ミニ依リ左記ノ內何レカ一品
◇リードミシン（新型高速度號） 壹臺
◇金側腕時計（八型服部製） 壹個
◇秩父銘仙夜具（西川特製） 壹流
貳等 仁丹ノ靈泉（定價三拾錢）壹本 貳千四百名樣
等外 仁丹齒磨（定價五錢）壹袋 全部ニ洩レナク贈呈
（右ハ五十萬名樣ニ對スル割合）



方出の案答

懸賞課題 左ノ○ニ適當ナ文字ヲ入レテ下サイ
世界一ノ口香料、○丹

◎答案用紙 仁丹定價三十錢以上ノ外袋一枚（十錢包ハ三枚、二十錢包ハ二枚）又ハ其他ノ用紙
◎送リ方 右外袋ノ裏ニ、課題ノ答ト住所御氏名ヲ御書キノ上、十五瓦（四匁）毎ニ三錢切手貼付願ヒマス
◎送リ先 大阪市東區玉堀町 仁丹本舗臺灣部
◎締切 昭和十年九月末日限リ
◎抽籤 昭和十年十月上旬
◎抽籤發表 昭和十年十月中旬
左記四新聞ニテ發表
◇臺灣日日新聞 ◇臺灣新民報
◇臺南新報 ◇臺灣新報

仁丹齒磨と仁丹體溫計本舗 大阪市 森下博營業所

日米・臺比兩水上競技大會（第三日）

見事に米軍を破り
水上日本の再制覇成る
吉田少年、二百米背泳に力闘し
日本新記錄を樹立

【東京十九日發本社特電】第二回日米對抗水上競技大會最終日たる第三日は十九日早朝六時卅分から明治神宮競泳場で擧行、氣溫二七度、水溫二二度のコンディション23對20……日本優勢に一點のリードで文字通り天下分け目の一戰たる最終日を迎へた練習競泳場は大觀衆の熱氣の渦場だ、軍艦の八百米自由型競技は午上、石原田、牧野のトリオで全勝を豫想させた種目であつたが開催無類のメヂイカは前日の四百米自由型で「日本の太陽」根上をタッチの差で敗北せる強力ストロークを利かせ石原田、牧野を引抜いて根上に迫つた、根上よく堪へて四百米の背泳を終つたタッチの差でゴール、メヂイカの勝込みは6對0が4對2となつて優勝點の獲得を逃がした、然しメヂイカを出た遊佐と前日の四百米繼泳のアンカーで56對8一大タイムを出した遊佐とがフイックの激戰だ、レースは後にスタート・ダッシュの遊佐がラスト・スパートのフイックに壓せることによつて結局を見けた、然し十八歳の少年新井の健闘は二人間にウオルフ、クロストウスキーを挟んで三着に喰込み3點、第二日からの續點3對3及日本四點のリードを保つてゐる、次は關脈の分解點「二百米競泳」だ、吉田、河津の力泳を

是が非でも 3對3に都き付けなければ日本絶對優勢は危い

レース終ドライスデールが百日をラスト・スパートに押へてゴールとなつたが百米に於けるモーフの如くターニングの反則によつて失格した牧、吉田、根上目のタイトルを獲得せるとゝもに、四位で入つた河津また三着となつて2對4であるべき得點は前日本に有利に展開脈絡の觀は起つた、最後の八百米繼泳は日本は遊佐に石原田、牧野、根上の最新鋭水手脈のトリオを起用、遊佐自由型繼泳競技の雪崩を發げフイックを二米引離せばこれを確保して日本チームは8分52秒2といふ大記錄をもつて世界記錄を打倒の上完全に優勝、十二種目中七つの選手權を獲得係、三日間の競技點36對9九點の差を以て日本の再勝利は成つた、然し選手權の上から見れば七對五オリムピックの

選手權の上から見れば三對二となつて最後の關脈の優勝が物ならない點目の一大激戰であつたことを裏書きする、斯くて太平洋を挟んで世界水上競技界に覇び立つ日米兩軍の水上戰は日本の優勝に歸した

照宮さま、那須新御殿へ

皇山御用邸内御殿にお遷御後の御容子は十五日午前十時十分發御召列車にて那須へ御らせられた（皇族は上皇陛下にて皇后）

2 メヂイカ（米）10分2秒4

1 根上博（日）10分2秒4

八百米自由型

3 石原田愈（日）10分3秒2

【得點】日本4點　米國2點
【コース順】牧野、メヂイカ、石原田、フラナガン、根上

四〇〇米までは根上リード、メヂイカ優かの差でこれを追ひ石原田、牧野つづき、五〇〇米邊から石原田メヂイカを押へて根上と同列となつたが、七八〇米邊でメヂイカ猛烈にスパート牧野を押へ、ゴール前の追込みで石原田を抜き根上に肉薄して二着根上はメヂイカの追込をタッチの差に辛く脫れて四百米自由型の幅を絡むことなくして濟んだ、石原田、牧野はいつも最後の引離しではメヂイカに對しフライド・サイドとなつて不利な戰ひであつた

2 遊佐正憲（日）57秒8（日本新記錄）

3 新井茂雄（日）58秒0

【得點】日本3點　米國3點
【コース順】フイック、志村、ウオルフ、新井、クロストウスキー、牧佐

遊佐スタートダッシュを利かせてフイックを約2リードせるも四〇〇米で同列猛烈な競合ひとなつて九〇〇米邊からのフイックの個人的なストロークは遂に遊佐を牛引離してゴールイン、新井とウオルフ、クロストウスキーをゴール前に制して孤軍の三着

二百米背泳

1 吉田喜一（日）2分35秒6

1 日本チーム（遊佐正憲、石原田愈、牧野甚藏、根上博）8分52秒2（世界並日本新記錄）

2 米國チーム（フイック、マヨニス、リンデグレン、メヂイカ）8分58秒6

【得點】日本3點　米國0點

【得點】日本4點　米國2點
【コース順】ゼーア、吉田、ドライスデール、河津、ブランチ

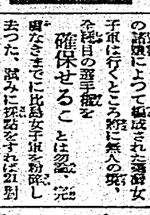
五〇米までブランが約リード他は進行、八〇米邊で吉田出でドライスデールを抑へに制してトップを切る、一五〇米でドライスデール吉田と同列、一七〇米邊で吉田が抜きそのままゴールに入つたがドライスデール一〇〇米のターニングで反則があつて失格、吉田拾ひ物の一着、河津一五〇米邊までゼーアと並行したが一七〇米邊で指切られ

八百米繼泳

1 日本チーム（遊佐正憲、石原田愈、牧野甚藏、根上博）8分52秒2（世界並日本新記錄）

2 米國チーム（フイック、マヨニス、リンデグレン、メヂイカ）8分58秒6

【得點】日本3點　米國0點



【得點】日本4點　米國2點
【コース順】ゼーア、吉田、ドライスデール、河津、ブランチ

五〇米までブランが約リード他は進行、八〇米邊で吉田出でドライスデールを抑へに制してトップを切る、一五〇米でドライスデール吉田と同列、一七〇米邊で吉田が抜きそのままゴールに入つたがドライスデール一〇〇米のターニングで反則があつて失格、吉田拾ひ物の一着、河津一五〇米邊までゼーアと並行したが一七〇米邊で指切られ

八百米繼泳

1 日本チーム（遊佐正憲、石原田愈、牧野甚藏、根上博）8分52秒2（世界並日本新記錄）

2 米國チーム（フイック、マヨニス、リンデグレン、メヂイカ）8分58秒6

【得點】日本3點　米國0點

豫想させた種目であつたが開催無類のメヂイカは前日の四百米自由型で「日本の太陽」根上をタッチの差で敗北せる強力ストロークを利かせ石原田、牧野を引抜いて根上に迫つた、根上よく堪へて四百米の背泳を終つたタッチの差でゴール、メヂイカの勝込みは6對0が4對2となつて優勝點の獲得を逃がした、然しメヂイカを出た遊佐と前日の

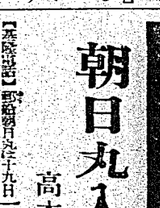
四百米繼泳のアンカーで

好かのこれも一大タイムを出したフイックの激戰だ、レースは後にスタート・ダッシュの遊佐がラスト・スパートのフイックに壓せることによつて結局を見けた、然し十八歳の少年新井の健闘は二着根上オルフ、クロストウスキーを挟んで三着に喰込み3點、第二日からの續點3對3及日本四點のリードを保つてゐる、次は關脈の分解點「二百米競泳」だ、吉田、河津の力泳を

是が非でも 3對3に都き付けなければ日本絶對優勢は危い

レース終ドライスデールが百日をラスト・スパートに押へてゴールとなつたが百米に於けるモーフの如くターニングの反則によつて失格した牧、吉田、根上目のタイトルを獲得せるとゝもに、四位で入つた河津また三着となつて2對4であるべき得點は前日本に有利に展開脈絡の觀は起つた、最後の八百米繼泳は日本は遊佐に石原田、牧野、根上の最新鋭水手脈のトリオを起用、遊佐自由型繼泳競技の雪崩を發げフイックを二米引離せばこれを確保して日本チームは8分52秒2といふ大記錄をもつて世界記錄を打倒の上完全に優勝、十二種目中七つの選手權を獲得係、三日間の競技點36對9九點の差を以て日本の再勝利は成つた、然し選手權の上から見れば七對五オリムピックの

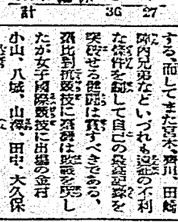
選手權の上から見れば三對二となつて最後の關脈の優勝が物ならない點目の一大激戰であつたことを裏書きする、斯くて太平洋を挟んで世界水上競技界に覇び立つ日米兩軍の水上戰は日本の優勝に歸した



2 メヂイカ（米）10分2秒4

1 根上博（日）10分2秒4

八百米自由型



3 石原田愈（日）10分3秒2

【得點】日本4點　米國2點
【コース順】牧野、メヂイカ、石原田、フラナガン、根上

四〇〇米までは根上リード、メヂイカ優かの差でこれを追ひ石原田、牧野つづき、五〇〇米邊から石原田メヂイカを押へて根上と同列となつたが、七八〇米邊でメヂイカ猛烈にスパート牧野を押へ、ゴール前の追込みで石原田を抜き根上に肉薄して二着根上はメヂイカの追込をタッチの差に辛く脫れて四百米自由型の幅を絡むことなくして濟んだ、石原田、牧野はいつも最後の引離しではメヂイカに對しフライド・サイドとなつて不利な戰ひであつた

2 遊佐正憲（日）57秒8（日本新記錄）

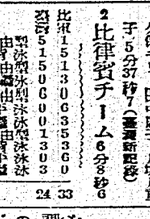
3 新井茂雄（日）58秒0

【得點】日本3點　米國3點
【コース順】フイック、志村、ウオルフ、新井、クロストウスキー、牧佐

遊佐スタートダッシュを利かせてフイックを約2リードせるも四〇〇米で同列猛烈な競合ひとなつて九〇〇米邊からのフイックの個人的なストロークは遂に遊佐を牛引離してゴールイン、新井とウオルフ、クロストウスキーをゴール前に制して孤軍の三着

二百米背泳

1 吉田喜一（日）2分35秒6



0

【得點】日本4點　米國2點
【コース順】ゼーア、吉田、ドライスデール、河津、ブランチ

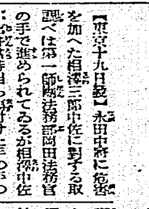
五〇米までブランが約リード他は進行、八〇米邊で吉田出でドライスデールを抑へに制してトップを切る、一五〇米でドライスデール吉田と同列、一七〇米邊で吉田が抜きそのままゴールに入つたがドライスデール一〇〇米のターニングで反則があつて失格、吉田拾ひ物の一着、河津一五〇米邊までゼーアと並行したが一七〇米邊で指切られ

八百米繼泳

1 日本チーム（遊佐正憲、石原田愈、牧野甚藏、根上博）8分52秒2（世界並日本新記錄）

2 米國チーム（フイック、マヨニス、リンデグレン、メヂイカ）8分58秒6

【得點】日本3點　米國0點



芭蕉出貨防腐法
臺中組合積極研究
期待發見理想的

芭蕉輸送。例年夏季。生出大量腐敗品。飽受利當巨害。各州青果組合。均加種々對策研究。結局以暴熱之腐敗。乃自然力所致。究難防止。極持消極的態度。以至今日。而本年之腐敗尤巨。每船有約近百籠腐棄品。以外部分的腐敗品。亦自不少。消費地亦有相當苦情。故青果聯合會。爲臺灣芭蕉之經濟維持上而甘。要講何等對策。而對船會社。交涉特別待遇。臺中組合一邊。以積極的。調查腐敗原因。講究防止策。即于同組合。對內地竝講銷路。寫轉來者舊氏。群衆各產地生產狀態。竝檢查狀況。然後總集州下三十二處檢查所及出張所主任。其他有關組合員。說明內外地腐敗狀況。由生產竝出貨方面。以如何防止腐敗。重加研究。而現行腐敗防止法。于船積之配貨關係而外。對生產出貨方面。施用加里肥。蕉房塗蠟。或器物改良。例如竹皮改良。及適量使用。利川竊等。然概屬過渡的改良法。惟未發見理想的方面。而此次臺中組合所行研究。以爲生產出貨團體。企圖發見適切理想的防腐法云。

生糸高昂
紡績株好調

東京十九日電。商品市場停頓。買氣聲戒。紡績株

臺北保育會
保姆講習

臺北市保育台。訂來二十三日至二十七日五日間。假市內表町私立臺北幼稚園。主開第三回保姆講習會。初日午前八時半。舉行開會式。此回講習者保姆三十三名。及園長十一名。計四十四名。講師爲文教局視學及課員云。

州農會主催
秋茶講習
會員二十名

臺北州農會。訂來二十六日起十二日間。假七星郡內湖庄南港大坑。主催秋季製茶講習會。講習種目包種茶。毛峰茶及紅茶焙製法。講習員爲州下一帶二十名云。

大屯山建設觀測所
測量既完年內竣功
國立公園化準備著進

臺北州下官關及彭佳嶼。關于測候所工事。既見著手。此外於松山飛行場內。重加研究。而現行腐敗防止法。于船積之配貨關係而此次更欲于大屯山頂上建設小測候所。去十七日中州大橋技師向導。非手簀轉技師一行登山。實地踏查建設地其他。將來內臺飛行。或島內郵便。抑旅客運輸飛行開辦之時。臺北市近郊。須要設置一觀測風速機關。幸而所謂大屯山麓。若于是地。設置測候所。日射量。雨量。氣溫等。自勿待言。且爲觀測風速。及雲。以無線電信報告于飛行關係方面。使欲使之早日竣功。務及于意見之旨。求其翻譯。結果今明日中。合報告盧山。蔣介石。然蔣氏將汪氏意見全部承認。直行改革國府機構。現下國內情勢複雜。有所不許。具體實行。該兩氏代行云。

蔣氏特派張群氏赴青島
力懇汪兆銘氏留任
汪氏亦爲所動允歸

青島十九日電。蔣介石氏特派張群氏。去十八日。與汪兆銘氏會見。先交蔣氏懇望留任之親書。次說明盧山會議結果。決定容汪氏國府機構改革。其他主張大半之顧末。極力慰留。結果汪氏亦爲所動。而爲數日中。允歸南京之語云。

蔣氏眞意慰留
汪氏飜意
不日歸京

青島十九日電。張群氏。十九日與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

武者小路大使
訪首相陸相
報告歐洲事

十九日東京電。駐德武者小路駐德大使。十九日午前十時。到首相官邸。訪岡田首相。竝白根書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

多田新駐華軍
司令官到任
直述抱負

天津十九日電。新任駐華軍司令官。多田少將。既與關東軍首腦部磯商畢。十九日午前五時半。自奉天乘直通列車到津沽。乘達塩ノ浜飛行機赴青島。與汪兆銘氏會見。傳以蔣介石氏意。轉力慰留。結果汪氏亦爲所動。而爲數日中。允歸南京之語云。

張群氏青島行
六中全會後
汪氏留任

上海十八日電。湖北省主席張群氏。承蔣介石氏意。十七日午後五時四十五分乘飛行機赴青島。與汪兆銘氏會見。傳以蔣介石氏意。轉力慰留。結果汪氏亦爲所動。而爲數日中。允歸南京之語云。

蔣氏眞意慰留
汪氏飜意
不日歸京

青島十九日電。張群氏。十九日與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

中華政局
漸見安定
廬山會議終

上海十九日電。蔣介石氏熱心慰留。汪兆銘氏。因翻辭意。決定撤回辭表。廬山會議。告一段落。而赴南昌。蔣氏且在該地。舉行資國舉首相暨大型飛行機受領式。更乘該機赴漢。會張學良等。開劃匪合以汪氏翻意之顧末。復命於蔣氏。或在漢口行之。又蔣氏於漢口會議後。或不歸京。再赴四川。聞在廬山會議席上。有九月二十日起。開第六次中央全體會議。不出席之語云。

汪兆銘氏
今朝歸京

青島十九日急電。汪兆銘氏。十九日午前八時三十分。乘飛行機。自當地赴南京云。

蔣氏南昌受意相機
且到漢開劃匪會議
再不歸京直赴四川督師

南京十八日電。確聞廬山會議。迄今止於交換個人意見。正式會議。且自明日頃開之。青島滯在中汪兆銘氏一兩日中。擬赴廬山。然會議內容。料有種種。綜合當地政府方面意見。大體如左。

一、對汪氏。中央依然。表明絕對信任。蔣介石氏亦極力慰留。以開廬山會議。汪氏復職。結局爲時期問題。解汪氏外交部長兼職。是實不信任汪氏外交政策之意。汪氏既自本意。不置外交部長。現狀維持而進。

二、汪氏復職條件。且蔣氏亦不知舊放置之問題。爲政府竝黨部統制之問題。廬山會議。主要目的在此。即政府機構改革。行政院長權擴大等。且爲協議中心事項。或要彈壓一部反對派。但此同會議。能否席滑。

盧山會議內容
擴大行政院長權限
對日政策更進一步歟

黨部。殊屬疑問。

一、對日問題。不論誰出柄收。不得不襲汪氏政策。況今易人。決非得策。或以汪氏爲中心。糊趙舊時方針。即蔣介石氏。或度一切狀勢。懇汪氏復職。竝彈壓反對派。以謀政府強化。一面對日政策。或改從來之騎墻主義。更進一步。結果或經第六次中央全體會議。竝第五次全國代表會議。逐次實現政府方面。以爲盧山會議之開。暗示一定之結果云。

蔣介石氏
力懇汪氏亦爲所動允歸

青島十九日電。蔣介石氏特派張群氏。去十八日。與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

蔣氏南昌受意相機
且到漢開劃匪會議
再不歸京直赴四川督師

南京十八日電。確聞廬山會議。迄今止於交換個人意見。正式會議。且自明日頃開之。青島滯在中汪兆銘氏一兩日中。擬赴廬山。然會議內容。料有種種。綜合當地政府方面意見。大體如左。

一、對汪氏。中央依然。表明絕對信任。蔣介石氏亦極力慰留。以開廬山會議。汪氏復職。結局爲時期問題。解汪氏外交部長兼職。是實不信任汪氏外交政策之意。汪氏既自本意。不置外交部長。現狀維持而進。

二、汪氏復職條件。且蔣氏亦不知舊放置之問題。爲政府竝黨部統制之問題。廬山會議。主要目的在此。即政府機構改革。行政院長權擴大等。且爲協議中心事項。或要彈壓一部反對派。但此同會議。能否席滑。

高雄市內小公學校
明年度增廿一學級
全州下計增百廿九學級

高雄市。十一年度小公學校學級增加問題。業由市教育課。調查立案中。至去十七日。知至少小學校須增五學級。公學校須增十七學級。計二十二學級。即時對州教育當要求。內容如下。二小增五學級。同中洲分教場一。二公三。三公四四公五。內惟公一。同桃子園分教場一。就中一二。三各公學校之增加中。各一學級。係父兄間。多年要望之補習教育機關。高等科又創立經與會社之前金方面。料想內地人學童。必見增加。欲新設第三小學校。但學童數若干。尚未明確。故關于校舍敷地之買收。及其他準備。在十一年度。難期實現。按計上于十二年度。而州教育費。勝算有限。竝總督府如何要求。亦決意不採用之。爲是督府關係今後出如何態度。尚未可料。

大連特產
各品反騰

大連十九日電。銀票暴騰。歐洲奧地內地皆好調。特產各品反騰。氣配堅硬。大豆現物輸出方面出買。與地南滿買賣。豆粕慨强。邦商先物買。豆油閑散。

撒布藥劑防稻熱病
各處皆得增收
屢試不爽農林省奬勵

最近天候不順。類稻熱病。縣農事試驗場。栽培全國發生。農林省鑑於年年被害形況。以孕穗期及開花期。發生特多。其防除法。以六年式過石灰波多液。或松脂實達加用六十式石灰波多液。於孕穗期或開花期散布之。

撒布量　凡一分地八十乃至二石。經費每分地二回撒布。六斗式藥價三四十錢。二人一日間。可撒布二三分地。如利用自家勞力。其費無幾。撒布此藥劑。於稻熱病之豫防。極其有效。盜諸各地實施成績。可已明白。即長野多田少將。語如左。

兩日中歸京。一時混亂至極之中。華政局。得見安定曙光云。

汪兆銘氏
今朝歸京

青島十九日急電。汪兆銘氏。十九日午前八時三十分。乘飛行機。自當地赴南京云。

汪氏飜意
不日歸京

青島十九日電。張群氏。十九日與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

蔣氏眞意慰留
汪氏飜意
不日歸京

青島十九日電。張群氏。十九日與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

中華政局
漸見安定
廬山會議終

上海十九日電。蔣介石氏熱心慰留。汪兆銘氏。因翻辭意。決定撤回辭表。廬山會議。告一段落。而赴南昌。蔣氏且在該地。舉行資國舉首相暨大型飛行機受領式。更乘該機赴漢。會張學良等。開劃匪合以汪氏翻意之顧末。復命於蔣氏。或在漢口行之。又蔣氏於漢口會議後。或不歸京。再赴四川。聞在廬山會議席上。有九月二十日起。開第六次中央全體會議。不出席之語云。

汪氏飜意
且撤回辭表

上海十九日電。汪兆銘氏。撤回辭表。顧孟餘。陳公博。王世杰。朱家驊諸氏。汪派要人。似皆撤回辭表云。

蔣介石氏
南昌行

上海十九日電。廬山會議。告一段落。蔣介石氏十九日朝。乘飛行機赴南昌云。

汪氏飜意
汪派要人等
且撤回辭表

上海十九日電。汪兆銘氏。撤回辭表。顧孟餘。陳公博。王世杰。朱家驊諸氏。汪派要人。似皆撤回辭表云。

交通事故
十八日四件

內自動車二件

最近交通事故。非常激增。去十八日。發生四件。就中左記之件。係自動車過失者。在此交通事故防止工作時。希自動車業者更加一層注意之也。

▲十八日午後六時半。市內兒玉町二丁目四十八番地。十字路上。有北門町三木所有自動車。與市內古亭町百九十二番地。池本運轉手演轉之千三號自動車衝突。車體破壞一部幸乘客平安。原因爲池本運轉手不注意。自後面追突三木之自動車。

▲同日午後八時。新店乘合自動車（大新自動車會社）北三百六十號。由文山郡新店庄大坪林字七張人。張友助。年二十四操縱。駛至溪坑庄圳內坑九十五番地。顚落于田中。乘客同郡石碇庄人。許氏幸乘客平安。外五名。各負治療二週間之傷。原因爲急角度轉彎路。自動車轉向機故障所致云。

林知義氏葬儀

既報元新莊郡下五股庄長林知義氏之葬儀。去十九日上午十一時。在其莊園自宅廣庭。鄭重舉行。是日會葬者多至三百餘人。臺北方面到者。觀音山行之各帮乘合車。咸告滿員。而新竹方面。鄭神寶。李海淵。李濟臣諸氏。亦遠々來會。式順僧侶讀經後。有金子。郭、潘、小野。鹽見。各界弔詞。凡十數通。次披讀大朝副社長。下村海南博士。外島內外弔電七八十通。會葬者臺北方面。有小野第三高女校長。尾崎秀眞。陳天來。許智貴。陳茂通諸氏。新莊方面。金子郡守。及各界重要人士。無不來會。稱該地方未曾有之葬儀云。

臺南
銷貨公賣

臺南市營質舖。本月與銷品之公賣。定十二日下午一時。在市公會堂行之。本回有秋夏服。時計。竝金器百飾。家庭用具等云。

調勤生路

增設南營業署長。昌盛調市街

巡視五州
優良部落
本社特派記者

海霧害部落振興官。種々活動。已如上述。而青年會員。亦助奮官。年末防備火災盜賊。巡視暴風雨共同曝業。堤八十坪。牛豚雞之外。養鴨增殖千羽。來十月一日自治制施行。地方將行選舉。各部落振興會。對部下有權者中文盲者。將牧以呂宋方言。開講話會。各課長。街庄長會。青年會例會。皆親名字。全部落增設簡易國語講習所。十六部下成國語講習所。大約五十。文盲者頗多。爲此開設簡易國語講習所。所二十七。合設五十九處。總勤員教授。學校職員。無暇休暑。傾全力指導。部開選舉講習會。勢堅持。而下茶短銷。愛有疲勢。保持無變云。

新竹州地租
二年增徵
年十三萬餘圓

新竹州下土地。依業種地目三木之自動車。

畫報徵詩

本社畫報。每期徵詩。學術大方各位。惠賜珠玉。不勝佩感。茲更擬定如左。

題臺灣物產
七律　不拘韻

右請于來八月十五日以內惠交漢文部爲荷。順頌吟祺。

軍司令官
十九日上京

寺內軍司令官。爲出席關于永田事件。陸軍省。訂來二十六日。開軍事參議會。議定案件。及竹子湖行啓。其他數名之官舍。豫定建設在竹子湖。然而物育。因運搬至三千數百。尺高處。或松脂實達加用六十式石灰波多液。或松脂實達加用六十式石灰波多液。於孕穗期或開花期散布之。

撒布量　凡一分地八十乃至二石。經費每分地二回撒布。六斗式藥價三四十錢。二人一日間。可撒布二三分地。如利用自家勞力。其費無幾。撒布此藥劑。於稻熱病之豫防。極其有效。盜諸各地實施成績。可已明白。即長野多田少將。語如左。

兩日中歸京。一時混亂至極之中。華政局。得見安定曙光云。

汪兆銘氏
今朝歸京

青島十九日急電。汪兆銘氏。十九日午前八時三十分。乘飛行機。自當地赴南京云。

對英借款說
事實無根
國府聲明

上海十八日電。國民政府十八日經濟通信中央通信。據明最近所傳對英五百萬磅借款之說。全非事實云。在使華北光明。最近勃發。關州事件其他一切待接詳細報告。而後善處。我意欲建平和鄉於華北。以及全華。及增進東亞民族之福祉爲理想云々。

五人組拔棺犯
首魁求刑懲役十年

關于新竹州桃園郡龜山庄楓樹坑字楓樹坑二十三番地阜水崗。年三十九。同庄黃闊。年三十。陳永和。年二十九。陳純。年三十四。黃水性。年四十六。五人組拔棺犯。去十九日午前十時。在臺北地方法院第五訟廷。由山脇裁判長審理。五人雖屬苦力。然自昨年五月二十六日。至本年三月八日。於龜山庄水尾。共同墓地。新莊街十八分。文山郡深坑庄與稻。在臺北地方法院第五訟廷。由山脇裁判長審理。五人雖屬苦力。然自昨年五月二十六日。至本年三月八日。於龜山庄水尾。共同墓地。新莊街十八分。文山郡深坑庄與稻。

電力理事補充問題
督府會社意見不合
在會社決意固執原案

關于電力會社理事補充問題。藤澤物部長。侯總督後。將重任之宏遠理事。另爲不動之方針。總督府如何要求。亦決意不採用之。爲是督府關係今後出如何態度。尚未可料。

新竹州地租
二年增徵
年十三萬餘圓

新竹州下土地。依業種地目三木之自動車。

大連特產
各品反騰

大連十九日電。銀票暴騰。歐洲奧地內地皆好調。特產各品反騰。氣配堅硬。大豆現物輸出方面出買。與地南滿買賣。豆粕慨强。邦商先物買。豆油閑散。

撒布藥劑防稻熱病
各處皆得增收
屢試不爽農林省奬勵

最近天候不順。類稻熱病。縣農事試驗場。栽培全國發生。農林省鑑於年年被害形況。以孕穗期及開花期。發生特多。其防除法。以六年式過石灰波多液。或松脂實達加用六十式石灰波多液。於孕穗期或開花期散布之。

撒布量　凡一分地八十乃至二石。經費每分地二回撒布。六斗式藥價三四十錢。二人一日間。可撒布二三分地。如利用自家勞力。其費無幾。撒布此藥劑。於稻熱病之豫防。極其有效。盜諸各地實施成績。可已明白。即長野多田少將。語如左。

兩日中歸京。一時混亂至極之中。華政局。得見安定曙光云。

汪兆銘氏
今朝歸京

青島十九日急電。汪兆銘氏。十九日午前八時三十分。乘飛行機。自當地赴南京云。

對英借款說
事實無根
國府聲明

上海十八日電。國民政府十八日經濟通信中央通信。據明最近所傳對英五百萬磅借款之說。全非事實云。在使華北光明。最近勃發。關州事件其他一切待接詳細報告。而後善處。我意欲建平和鄉於華北。以及全華。及增進東亞民族之福祉爲理想云々。

臺中移出米
意外減少
難達豫想額

臺中州下移出米。就中經臺中米穀同業組合辦理移出米。至去十四日。計百五十四萬九千三百三十五袋。視前年同期之二百九十三萬袋。減少約三十七萬袋。又前年米移出額二百九十七萬八千五百十市面。閑散。近日行情。烏龍茶之中茶級。買氣順調。洋行及再製茶館。均呈相當活氣。而下茶少買氣。概以停滯。紅茶貿易商。漸有採買。故自春茶以來之在貨。以次消化。在庫品行見減少。商況有幾分好轉之兆。然尚乏活氣。

烏龍中茶級
相當活況
紅茶亦漸銷

大稻埕。最近茶市。據臺灣茶共同販賣所。于十八日調查。本週茶況。時屆夏茶終末期。出貨漸減。烏龍茶之中茶級。買氣順調。洋行及再製茶館。均呈相當活氣。而下茶少買氣。概以停滯。紅茶貿易商。漸有採買。故自春茶以來之在貨。以次消化。在庫品行見減少。商況有幾分好轉之兆。然尚乏活氣。

新竹州地租
查定六十餘萬

新竹州稅務課管內。本年度前期。分地租。及地租附加稅。官租。土地整理組合費。農會費等。調查總額六十萬八千五百五十一圓五十五錢。該納稅告知書。及依四月十四日付。

新竹州地租
查定六十餘萬

新竹州稅務課管內。本年度前期。分地租。及地租附加稅。官租。土地整理組合費。農會費等。調查總額六十萬八千五百五十一圓五十五錢。該納稅告知書。及依四月十四日付。

高雄市內小公學校
明年度增廿一學級
全州下計增百廿九學級

高雄市。十一年度小公學校學級增加問題。業由市教育課。調查立案中。至去十七日。知至少小學校須增五學級。公學校須增十七學級。計二十二學級。即時對州教育當要求。內容如下。二小增五學級。同中洲分教場一。二公三。三公四四公五。內惟公一。同桃子園分教場一。就中一二。三各公學校之增加中。各一學級。係父兄間。多年要望之補習教育機關。高等科又創立經與會社之前金方面。料想內地人學童。必見增加。欲新設第三小學校。但學童數若干。尚未明確。故關于校舍敷地之買收。及其他準備。在十一年度。難期實現。按計上于十二年度。而州教育費。勝算有限。竝總督府如何要求。亦決意不採用之。爲是督府關係今後出如何態度。尚未可料。

大連特產
各品反騰

大連十九日電。銀票暴騰。歐洲奧地內地皆好調。特產各品反騰。氣配堅硬。大豆現物輸出方面出買。與地南滿買賣。豆粕慨强。邦商先物買。豆油閑散。

臺北保育會
保姆講習

臺北市保育台。訂來二十三日至二十七日五日間。假市內表町私立臺北幼稚園。主開第三回保姆講習會。初日午前八時半。舉行開會式。此回講習者保姆三十三名。及園長十一名。計四十四名。講師爲文教局視學及課員云。

州農會主催
秋茶講習
會員二十名

臺北州農會。訂來二十六日起十二日間。假七星郡內湖庄南港大坑。主催秋季製茶講習會。講習種目包種茶。毛峰茶及紅茶焙製法。講習員爲州下一帶二十名云。

大屯山建設觀測所
測量既完年內竣功
國立公園化準備著進

臺北州下官關及彭佳嶼。關于測候所工事。既見著手。此外於松山飛行場內。重加研究。而現行腐敗防止法。于船積之配貨關係而此次更欲于大屯山頂上建設小測候所。去十七日中州大橋技師向導。非手簀轉技師一行登山。實地踏查建設地其他。將來內臺飛行。或島內郵便。抑旅客運輸飛行開辦之時。臺北市近郊。須要設置一觀測風速機關。幸而所謂大屯山麓。若于是地。設置測候所。日射量。雨量。氣溫等。自勿待言。且爲觀測風速。及雲。以無線電信報告于飛行關係方面。使欲使之早日竣功。務及于意見之旨。求其翻譯。結果今明日中。合報告盧山。蔣介石。然蔣氏將汪氏意見全部承認。直行改革國府機構。現下國內情勢複雜。有所不許。具體實行。該兩氏代行云。

蔣氏特派張群氏赴青島
力懇汪兆銘氏留任
汪氏亦爲所動允歸

青島十九日電。蔣介石氏特派張群氏。去十八日。與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

蔣氏眞意慰留
汪氏飜意
不日歸京

青島十九日電。張群氏。十九日與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

武者小路大使
訪首相陸相
報告歐洲事

十九日東京電。駐德武者小路駐德大使。十九日午前十時。到首相官邸。訪岡田首相。竝白根書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

多田新駐華軍
司令官到任
直述抱負

天津十九日電。新任駐華軍司令官。多田少將。既與關東軍首腦部磯商畢。十九日午前五時半。自奉天乘直通列車到津沽。乘達塩ノ浜飛行機赴青島。與汪兆銘氏會見。傳以蔣介石氏意。轉力慰留。結果汪氏亦爲所動。而爲數日中。允歸南京之語云。

張群氏青島行
六中全會後
汪氏留任

上海十八日電。湖北省主席張群氏。承蔣介石氏意。十七日午後五時四十五分乘飛行機赴青島。與汪兆銘氏會見。傳以蔣介石氏意。轉力慰留。結果汪氏亦爲所動。而爲數日中。允歸南京之語云。

蔣氏眞意慰留
汪氏飜意
不日歸京

青島十九日電。張群氏。十九日與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

中華政局
漸見安定
廬山會議終

上海十九日電。蔣介石氏熱心慰留。汪兆銘氏。因翻辭意。決定撤回辭表。廬山會議。告一段落。而赴南昌。蔣氏且在該地。舉行資國舉首相暨大型飛行機受領式。更乘該機赴漢。會張學良等。開劃匪合以汪氏翻意之顧末。復命於蔣氏。或在漢口行之。又蔣氏於漢口會議後。或不歸京。再赴四川。聞在廬山會議席上。有九月二十日起。開第六次中央全體會議。不出席之語云。

汪氏飜意
且撤回辭表

上海十九日電。汪兆銘氏。撤回辭表。顧孟餘。陳公博。王世杰。朱家驊諸氏。汪派要人。似皆撤回辭表云。

蔣介石氏
南昌行

上海十九日電。廬山會議。告一段落。蔣介石氏十九日朝。乘飛行機赴南昌云。

交通事故
十八日四件

內自動車二件

最近交通事故。非常激增。去十八日。發生四件。就中左記之件。係自動車過失者。在此交通事故防止工作時。希自動車業者更加一層注意之也。

▲十八日午後六時半。市內兒玉町二丁目四十八番地。十字路上。有北門町三木所有自動車。與市內古亭町百九十二番地。池本運轉手演轉之千三號自動車衝突。車體破壞一部幸乘客平安。原因爲池本運轉手不注意。自後面追突三木之自動車。

▲同日午後八時。新店乘合自動車（大新自動車會社）北三百六十號。由文山郡新店庄大坪林字七張人。張友助。年二十四操縱。駛至溪坑庄圳內坑九十五番地。顚落于田中。乘客同郡石碇庄人。許氏幸乘客平安。外五名。各負治療二週間之傷。原因爲急角度轉彎路。自動車轉向機故障所致云。

林知義氏葬儀

既報元新莊郡下五股庄長林知義氏之葬儀。去十九日上午十一時。在其莊園自宅廣庭。鄭重舉行。是日會葬者多至三百餘人。觀音山行之各帮乘合車。咸告滿員。而新竹方面。鄭神寶。李海淵。李濟臣諸氏。亦遠々來會。式順僧侶讀經後。有金子。郭、潘、小野。鹽見。各界弔詞。凡十數通。次披讀大朝副社長。下村海南博士。外島內外弔電七八十通。會葬者臺北方面。有小野第三高女校長。尾崎秀眞。陳天來。許智貴。陳茂通諸氏。新莊方面。金子郡守。及各界重要人士。無不來會。稱該地方未曾有之葬儀云。

臺南
銷貨公賣

臺南市營質舖。本月與銷品之公賣。定十二日下午一時。在市公會堂行之。本回有秋夏服。時計。竝金器百飾。家庭用具等云。

調勤生路

增設南營業署長。昌盛調市街

巡視五州
優良部落
本社特派記者

海霧害部落振興官。種々活動。已如上述。而青年會員。亦助奮官。年末防備火災盜賊。巡視暴風雨共同曝業。堤八十坪。牛豚雞之外。養鴨增殖千羽。來十月一日自治制施行。地方將行選舉。各部落振興會。對部下有權者中文盲者。將牧以呂宋方言。開講話會。各課長。街庄長會。青年會例會。皆親名字。全部落增設簡易國語講習所。十六部下成國語講習所。大約五十。文盲者頗多。爲此開設簡易國語講習所。所二十七。合設五十九處。總勤員教授。學校職員。無暇休暑。傾全力指導。部開選舉講習會。勢堅持。而下茶短銷。愛有疲勢。保持無變云。

新竹州地租
二年增徵
年十三萬餘圓

新竹州下土地。依業種地目三木之自動車。

鷹標牛乳
賣價低減

最良之育兒用煉乳廣標牌。今者比從前。可得以低價供給之。故對愛兒。請必與以廣標牛乳

低減賣價

發賣元　臺北市神農氏發賣

九一四內服新藥
治風濕骨痛

假金票案（卅二）受騙巨款

飲恨吞聲

翌日踏入醫起。同用早餐。我就將合股資金內。分出金八千圓交與村上。村上即時分千圓

小說

處世渾如夢。人生幾易綠。及時行樂好。垂老思遲遇。

乘燭慎前哲。持杯勸故知。英將塵土事。愁鎖上双眉。

○

枕上一首示宮草　如弟

一室清如水。孤眠我似僧。門無脂粉氣。案有墨香凝。

遣興憑詩筆。消愁爰酒瓶。寓懷忘得失。何用問沉升。

○

美觀。日來商業向不繁昌。小田原小笠原三人。各金五百圓。在村上皮包中。村上只外語所謂我輩者三人。皆應聞彼等招待。約明日起程。已前往拾行李。約明日起程。已前往拾行李。

詩壇

君代橫晚望　王大俊

琴鶯長虹跨大溪。凌晨四顧機三豪。及所而我品。店。由代車使。盜賊弘前。我與村上同舟夜車出發。是夜因飲幾酒。身體疲倦。入車室便眠。染中爲代首所驚。醒夢覺醒。徐醒神思。不見村上。初疑他是往便所。待約二小時。終不歸車去。車至弘前。四友已候我於驛頭。升食品下車。將前事告諸友。諸友無不得拾。小村曰。如是我等就職矣。皆後悔不及。當到飛田家鎮守後境。守田曰。速將印刷機及雜品運出。觀是何等搬運。飛田此命其家僕人往搬運。領印刷機來。竟能印刷專門委經。謂該印刷機。竟非特別製。乃是普通製。不值甚麼錢。僕人面々相覷。一籌莫展。我速與飛田守田歸宅。向各面授策。無影無蹤。不獨村上等不見。發所謂拔師之阿部。廢井。小田原小笠原四人。所其名刺所印住所。竟皆偽無此人。大村小村亦自以如斯。大村曰。彼與村上共謀詐欺我等。金錢入手已杯之天人矣。那有往弘前之理。我問如此。作何辦法。小村曰。速告所。請搜捕。守田曰。若風景器。一出所。司法道能覺悟。我等雖免罪。不如勿所。諸人皆以爲然。於是飲泣吞聲。不敢聲張。不知貴衙門何以知之也。桑一郎所陳情節。與鈴木所言。若合符節。對卓永固。求刑懲役十年。黃闊同六年。陳永和同六年。陳純同五年。黃水性同一年六箇月。終有小山辯護士。起爲辯論。至同十一時半閉廷。於來三十日判決云。

毆人負傷
反訴被斬右腕

基隆市玉田町二丁目七十四番地陳材壽。年三十六。去十九日午前一時。跑往警察署。應訴被無罪。以是。連刑事急出張現場查究結果。判明陳與黃番地顏清吉。年四十二。因金錢貸借關係。合以汪氏翻意之顧末。復命於蔣氏。或在漢口行之。又蔣氏於漢口會議後。或不歸京。再赴四川。聞在廬山會議席上。有九月二十日起。開第六次中央全體會議。不出席之語云。

盧山會議內容
擴大行政院長權限
對日政策更進一步歟

黨部。殊屬疑問。

一、對日問題。不論誰出柄收。不得不襲汪氏政策。況今易人。決非得策。或以汪氏爲中心。糊趙舊時方針。即蔣介石氏。或度一切狀勢。懇汪氏復職。竝彈壓反對派。以謀政府強化。一面對日政策。或改從來之騎墻主義。更進一步。結果或經第六次中央全體會議。竝第五次全國代表會議。逐次實現政府方面。以爲盧山會議之開。暗示一定之結果云。

蔣介石氏
力懇汪氏亦爲所動允歸

青島十九日電。蔣介石氏特派張群氏。去十八日。與汪兆銘氏會見。先交蔣氏親筆書記官長。錢歸朝之讀。報告德國。其他歐洲各國近況。十一時。陸相官邸訪林陸相。一襄報告歐洲事。

蔣氏南昌受意相機
且到漢開劃匪會議
再不歸京直赴四川督師

南京十八日電。確聞廬山會議。迄今止於交換個人意見。正式會議。且自明日頃開之。青島滯在中汪兆銘氏一兩日中。擬赴廬山。然會議內容。料有種種。綜合當地政府方面意見。大體如左。

一、對汪氏。中央依然。表明絕對信任。蔣介石氏亦極力慰留。以開廬山會議。汪氏復職。結局爲時期問題。解汪氏外交部長兼職。是實不信任汪氏外交政策之意。汪氏既自本意。不置外交部長。現狀維持而進。

二、汪氏復職條件。且蔣氏亦不知舊放置之問題。爲政府竝黨部統制之問題。廬山會議。主要目的在此。即政府機構改革。行政院長權擴大等。且爲協議中心事項。或要彈壓一部反對派。但此同會議。能否席滑。